OITA

Nippon Steel &
Sumitomo Metal Corporation
OITA WORKS

災害・事故0 公害0 世界第1級

No.393
2018
1月

http://www.nssmc.com/works/oita/index.html/

2018年大分製鐵所運営方針

製鉄所ファミリーの総力結集 目指せ「001」大分！

「人と4つの輪」の強化により、安環防を再構築し、安定生産体制を確立しよう！

所長
上野　浩光

ご安全に！新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、大分製鐵所ファミリーの皆さんへ、2018年の運営方針および重点取り組み課題についてお話しいたします。

まず、当社および鉄鋼業を取り巻く環境について申し述べます。昨年は良好な世界経済を背景に、鉄鋼市場も堅調に推移しました。特にこれまで課題とされてきた中国の過剰生産能力の解消が着実に進展しつつあり、内需も堅調で世界的な需給が概ね安定的に推移しています。一方で、原料価格の変動や原油価格の低迷によるエネルギー関連需要の低迷等の不透明要素も抱えた状態が継続する中で2018年を迎えています。中長期的に世界の鋼材需要が緩やかに伸びていくと想定される鉄鋼業界において、競合者との激しい競争環境はもちろんのこと、産業構造の変化や新たなビジネスモデルへの対応が求められる時でもあります。このような事業環境において、当社が「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」としての地位を確立し、その位置づけを盤石なものとするために大分製鐵所が全社旗艦製鉄所の一つとして果たすべき役割は言うまでもなく「安定生産体制の確立」による全社収益への貢献です。その目的を達成するためには、まず何よりもものづくりの基本である安全・環境・防災を直協一丸となって強固なものにする必要があります。しかしながら、現在の大分製鐵所の置かれた状況は、大変厳しいものであると言えます。

2016年の重大災害発生を受けて「安全文化の再構築」に取り組む中で、昨年１月５日に厚板工場主電室にて火災を発生させ、地域・行政そして取引先の皆様の信用・信頼を大きく失墜させる事態となりました。その後も災害や防災事案を発生させてしまい、直協一丸となって安全・防災活動に取り組んでいるもののまだまだ実力不足と言わざるをえません。この結果を真摯に受け止め、全社からの支援も受けながらもう一段踏み込んだ安全・防災体質強化に取り組んでいるところです。具体的には、これまで進めてきた「人と４つの輪（ソフト、ハード、環境、仲間の各輪を広げ、それぞれの繋がりを強めながら、真ん中の「人」を守るモデル）」を発生事案の原因分析だけでなく、安環防リスクアセスメント等への活用による現場でのTBM（作業前のチームでの作業内容確認）やKY（危険予知）の強化や、現場６S・訓練・リスクアセスメントの強化による現場防災力のレベルアップ等を重点施策として実行することが必要です。

安全・防災に加えて、環境課題にも真摯に取り組む必要があります。市街地に隣接する都市型製鉄所として、降下煤じんの低減対策は待ったなしであり、継続的改善を図っていかねばなりません。

また、昨年は日本製造業での品質改ざんが多数発覚し、日本のものづくりへの信用・信頼を揺るがす事態となりましたが、当所はこれらの事態を決して他人事と考えず、コンプライアンス遵守を徹底し、お客様にご満足いただける品質を提供し続ける必要があります。

さらに、さまざまな外的要因もあったとはいえ、製鉄所としての安定生産が実行できなかった点は大きな反省点であると考えます。特に製銑工程の安定化が課題であり、製銑一貫での安定生産に向けた施策をしっかりと実行していかねばなりません。あわせて、鉄源～圧延～出荷の一貫スループット最大化を図るべく、設備装備力の充実と生産性最大活用による競争力向上に取り組み、全社旗艦製鉄所としての負託に応える必要があります。

これらの諸課題への対策を実行していくためには、今まさにピークを迎えている世代交代を確実に行っていくことが重要です。製鉄所の製造実力の源泉は人であるという原点に立ち返り、教育の仕組みを有効に活用しながら、各層に適した教育施策を一層充実させていく必要があります。

対話と相互信頼をベースに直協従業員が心を一つにして、現中期施策の完遂とともに、前述の活動強化による成果を着実に積上げていくこと、そのための必要戦力を集中的に投入すること、加えて弱点克服を中心に「つくる力の再構築」に向けた安定生産・競争力強化に今後も取り組むことで、全社収益に貢献できる「強い大分製鐵所」を取り戻すことに傾注したいと考えます。

以上より、2018年の運営方針は、引き続き『製鉄所ファミリーの総力結集　目指せ「001」大分！』とした上で、大分製鐵所が生み出したモデルである「人と４つの輪」を最大限活用することにより安全・環境・防災・品質の対応力を底上げし、盤石な安定生産体制を確立することを目指します。

１．安全文化の再構築！安全と健康を最優先と考えて行動

2016年の重大災害発生を受けて安全非常事態宣言を発し、所安全会議・S-SAT（Safety-Special-Activity-Team：所長直轄安全対策チーム）を新設する等、所を挙げて安全を基軸とした所運営に取り組んできました。この非常事態の運営（ステップ１）を実行する中で、階層別議論に加えて社外取締役や安全ソフト対策委員会による第三者的視点も入れ、安全課題の根底に潜む弱点を分析した「人と４つの輪」というモデルを生み出し、2016年10月より安全文化の再構築（ステップ２）に移行しています。ステップ２ではステップ１の各種取り組みを継続・定着させるとともに、「人と４つの輪」を基軸とした安全マネジメントの強化として、発災事案に対する評価・分析を行ってきました。今後は「人と４つの輪」を切り口に危険予知ができる体質をつくるべく、KY・TBMにこの要素を導入し、災害を未然防止する活動を展開します。また、安全を基軸とした所運営を継続し、所長以下直協管理者全員参加のリスク総点検パトロールによる抽出リスクの所内一元管理（所ポータルサイトで公開）、本質安全化（可働エリア対策、IT活用等）への取り組み、スモールミーティングの活性化、安全作業手順書の見直し、作業環境改善等にも引き続き注力していきます。さらに、イエローカード制度、93件の類災防止活動、他所安全エキスパートや本社安全監査による指導の反映、真因追究による問題解決等、さまざまな全社活動を着実に実行し、他所の好事例をこれまで以上に積極的に所内展開していきます。

直協の管理者、現場の一人ひとりが「自分の体は自分で守る」・「仲間の安全を確保する」・「働きやすい職場をつくる」ことを強い決意の下で実行しなければなりません。直協の管理者は、今一度自職場について、安全に関する方針・活動・知識が組織の隅々、現場の一人ひとりに至るまで漏れなく確実に浸透しているかをしっかりと確認し、「決して災害を起こさない」という強い思いで日々の業務に取り組んで下さい。現場の一人ひとりは「安全と健康を最優先と考え、その判断に基づき行動できる」ことを自然体で実行できる文化を定着すべく、作業前・作業変化点における確実なTBMとKYの実行でルールを守り・守らせる安全最優先を実践して下さい。そして、重篤な災害に直結する６則違反に対しては、特に開口部の安全措置や可動設備の立入り時の非稼働処置と修理札使用等、法令遵守と職場取決め事項を厳守することで「自分の体は自分で守る」ことを徹底しましょう。また、一日の作業の振り返り・スモールミーティング・TBMとKYを活用して職場の課題の抽出と改善、作業中の声掛けによる相互注意、対話と相互信頼をベースにした直協連携強化を図り「仲間の安全を確保する」ことを実践しましょ

う。製鉄所としてもIT技術を取り入れた携帯端末を活用した映像配信による一人作業の安全確認等の「働きやすい職場をつくる」取り組みを強化していきます。このような安全活動をファミリー一体となって地道に着実に推進し、安全の大分を取り戻すことを目指しましょう。

2．環境・防災リスク管理とコンプライアンスの徹底による信用・信頼の回復

（1）防災

昨年１月５日に発生した厚板主電室火災の反省・教訓を風化させないため、当社は毎年１月５日を「電気防災の日」とし、大分製鐵所においては電気設備の点検、防災訓練、パトロール等を実施することとしました。全ての工場・室において2017年１月５日の事故を思い返し、今一度、電気防災について見つめ直す日として下さい。

昨年の防災活動として、初動レベルアップ（初動マニュアル整備、電気室火災を想定した防災訓練実施と課題抽出・改善による標準化）を重点的に進めてきましたが、その後も防災事案が続いたことに対して、その発生を抑制すべく、隅々までの可燃物除去（６S）と着火源対策（リスクアセスメント強化）に取り組んできました。これらの活動により、防災リスクが「十分に認識できていない」から「リスクとして認識し点検強化している」段階に移りつつあります。

2018年のスローガンは「今こそ高めよう　防災現場力」～予防と初動の徹底強化～としました。防災事故を二度と起こさない強い決意を込めて、もう一段階踏込んだ防災活動として、①工場ごとに弱点克服のための施策を防災活動計画に組込む、②リスクアセスメントの強化（工場長によるリスクアセスメントを所長・部長でレビュー）、③所防災マネジメント強化として会議体新設と標準に基づく防災業務実行（所防災会議による防災対策の直協共有化、防災企画委員会による施策議論等）、④工場防災専任者・D-SAT（Defence-Special-Activity-Team：所長直轄防災対策チーム）の積極的活動展開、⑤防災学習ルーム企画・設置による風化防止、等を推進します。これらの取り組みと火気工事ルール厳守や電気室６S活動も継続し、現場防災力を着実に向上させていきましょう。

なお、地震対策としては、南海トラフ地震・津波発生等を想定した避難訓練や安否登録訓練を繰返し実施して初動対応習熟を図るとともに、構内建屋の耐震補強完成を実施します。

（2）環境

環境については降下煤じん対策が最重要課題です。引き続き地域の方々に真摯に向き合い対話を重ねるとともに、所重要課題として降下煤じんの低減対策に注力し継続的改善を図る必要があります。そのために集じん機のフル発揮や増強、発じん防止対策の強化等のアクションプランを着実に実行し、一つひとつの対策の成果を積み上げていきます。これらのリスク管理を丁寧かつ着実に実行することを通して、近隣住民の方々からの信用・信頼を得られるよう努力を続けていきます。

3．お客様に満足いただける品質・商品の提供

当所において、2017年度は今のところＡ・Ｂランクの品質事故は発生していませんが、Ｃランク３件が発生しました。人為的ミス起因のＣランク事案が発生していることを真摯に反省し、再発防止に関する取り組みを愚直に続ける必要があります。そのために、品質管理部朝会や所朝会にて日々の品質状況を確認・共有（所内ヒヤリ・好事例、他所事案等）し、短サイクルでの管理強化に努めています。

また、商品開発については、国内に留まらず海外の需要家向けの拡販に注力する等、東アジアを中心とする旺盛な鉄鋼需要を補足するための活動に取り組んできました。今後も、お客様に心から満足いただける品質・商品を提供するため、一人ひとりの直協所員がお客様目線での商品開発・品質向上活動に取り組んでいただきたいと思います。

4．鉄源工程の安定化と、鉄源～圧延～出荷の一環スループット最大化

2016年以降、さまざまな外的要因もあったとはいえ、製鉄所として安定生産が実行できていないことを猛省する必要があります。足下は、製銑工程の安定化が所の最重要課題であり、高炉の安定操業に向けた各種施策の速やかな実行が急務です。全社製銑有識者による支援も受けながら、製銑一貫での安定操業達成へ向けて一つひとつ着実に課題解決に取り組んでいきます。また、操業・設備トラブル削減に関しては、一部工程での施策が効果を出してきているものの、真因追究不足による繰返しトラブルの課題が残っています。今年は、製銑操業安定化と厚板火災からの信頼回復、事故・トラブル未然防止・再発防止に重点的に取り組むことで、安定生産・収益改善を目指します。

また、鉄源～圧延～出荷の一貫スループット最大化を図るべく、全社施策の展開としての設備装備力の充実と生産性最大活用による競争力確保・向上に取り組み、全社旗艦製鉄所としての負託に応えていかねばなりません。顕在化した弱点の克服に加え、中長期的な視野からの操業・設備管理の強化を通じた「つくる力の再構築」により、今一度「年間粗鋼１千万ｔ体制」を安定的に継続できるよう、しっかりと取り組んでいきましょう。

5．6S徹底と業務改革・標準化推進による強い製鉄所づくり

ものづくり系業務標準化については、過去２年間で所長をヘッドとする推進体制のもと、標準化活動の浸透・定着に取り組んできました。特に重点活動として、安全・防災を主とした高リスク項目の規程化および技術標準の不足分の拡充を進めてきました。昨年からは、防災トラブルの反省を活かした防災関連標準類の不足分の拡充を最優先とし、併行して作業手順の改訂と活用の定着、未然防止・再発防止のための真因追究と類災防止活動を継続しています。引続き標準化を確実に進展させ、SDCA（Standardize-Do-Check-Action）サイクルの定着を目指していきます。

スタッフ系業務標準化については、６Sの強化・徹底（「隅々まで頻度を上げて」、６Sコンクール等）を基盤として「業務改革」「業務標準化」「上司力強化」の３点を軸に活動着手しています。まずは所内のこれまでの活動を整理・分析するとともに、階層別対話を重ねながら、会議体見直し（効率化、時間短縮）や各職場における既存手順書の目次化を実施しました。2018年は、いよいよ標準化要素を織り込んだ手順書作成に着手し、これまで暗黙知とされてきた業務の要諦を「見える化」するステージとなります。昨年開始した階層別対話は今年も継続し、当所の基軸モデルである「人と４つの輪」を標準化活動にも活用することで、各活動を有機的に連携させ、総合的生産性の向上へと繋げていく方針です。

6．おわりに

２年目に入った「安全文化の再構築（ステップ２）」を一歩ずつ着実に進めるとともに、防災体質強化に向けた各活動を直協一人ひとりの社員が愚直に取り組んでいかねばなりません。「人と４つの輪」を基軸としたこれらの活動を通して、安全・環境・防災・品質をしっかりと固め、安定生産に向けた各種施策を確実に実行することで「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を支える全社旗艦製鉄所としての責務を果たしていきましょう。

最後になりましたが、本年も直協の皆さんとご家族のご健康とご多幸をお祈りいたします。ご安全に！

回顧 2017 「製鉄所ファミリーの総力を結集し、目指せ“001”大分！～対話と行動で弱点を克服し、主力マザーミルの使命を果たそう！～」を振り返る

1月	1日	製鉄所ファミリーの総力結集　目指せ「001」大分！ 2017年　運営方針スタート 年末年始「2.0」運動展開
	4日	安全誓願式
	6日	安全エキスパート支援開始（大分地区）
	27日	人材育成フェア(大分地区)・JK人材育成講話(小森副所長)
2月	1日	中途新入社員19人入社
	19日	スラグ出荷バース竣工
3月	4日	新日鐵住金大分吹奏楽団　定期演奏会 光地区駅伝競走大会 １位：鋼管工場電縫鋼管課、２位：新日鐵住金ステンレス㈱製鋼工場、３位：新日鐵住金ステンレス㈱設備部
	17日	所広域停電訓練
	23日	所JK「ものづくり総合」ファミリー大会
4月	3日	合同慰霊祭、新入社員76人入社
	16日	ふれあい祭り
5月	17日	防災講演会　講師：災害対策研究会代表　宮本英治氏 防災図上訓練（地震発生想定）
5月	24日	森の地蔵尊春季例大祭
	27日	ミニバレーボール大会 Ⅰ部優勝：NSST-Aチーム、Ⅱ部優勝：ガッツ輸送
	春の黄綬褒章	岩谷要助氏（製銑原料工場）
6月	1日	学卒新入社員17人入所
7月	1日	夏季無災害・無事故62日運動スタート
	3日	安全誓願式
	27日	所JK「安全」大会
8月	4日	安全講演会 講師：大分労働基準監督署　安全衛生課長　海老名信彦氏
	6日	厚板工場操業再開
	10日	人材育成講話　講師：大塚生産技術部長
	30日	所地震訓練
9月	8日	所地震夜間訓練
	15日	環境講演会　講師：本社／高橋参与環境部長
10月	1日	特別防災活動チーム「D-SAT」発足 (D-SAT：Defence-Special Activity Team)
	14・15日	オール日産大商談会
10月	25日	森の地蔵尊秋季例大祭
	28日	OJK特別企画　ゴム動力飛行機滞空時間競技会
	30日	防災エキスパート支援開始（大分地区）
11月	1日	安全エキスパート支援開始（光地区）
	2日	所総合防災訓練（厚板工場）
	4日	駅伝・ジョギング大会 総合優勝：製鋼工場Ａ、２位：コークスＡ、 ３位：日鉄住金テックスエンジＡ
	13日	公設消防消火訓練（コークス工場）
	16日	所JK「ものづくり」大会
	秋の黄綬褒章	大畠栄治氏（製鋼整備室）
	現代の名工	三浦栄治氏（高炉工場） 江藤浩二氏（炉材技術室）
12月	1日	年末年始2.0運動開始
	8日	全社安全小集団活動発表大会（高炉工場） 品質講演会　講師：横浜国立大学教授　野口和彦氏
	15日	防災講演会　講師：大分市消防局中央消防署 消防司令　大野盛通氏

大分製鐵所　運営方針

製鉄所ファミリーの総力結集
目指せ「００１」大分！

「人と４つの輪」の強化により、安環防を再構築し、
安定生産体制を確立しよう！

【重点課題】

1．安全文化の再構築！安全と健康を最優先と考えて行動
2．環境・防災リスク管理とコンプライアンスの徹底による信用・信頼の確立
3．お客様に満足頂ける品質・商品の提供
4．鉄源工程の安定化と、鉄源～圧延～出荷の一貫スループット最大化
5．６S徹底と業務改革・標準化推進による強い製鉄所づくり

各 種 方 針

安全衛生方針

安全文化の再構築！安全と健康を最優先と考え行動
～弱点を克服し、職場風土の改善を進めよう！～

【重点目標】
安全：死亡災害・重篤災害　ゼロ
　　：総合休業災害度数率　0.10以下、強度率0.10以下

【重点施策】

死亡災害・重篤災害の撲滅に向けた安全活動の推進
①重大リスクの洗い出し強化と迅速な対応
②繰返し災害防止対策の周知徹底と浸透
③安全設備対策の拡充
④工事における安全管理強化

「人と4つの輪」

安全マネジメント

1．安全ルールと規律を守り、安全最優先行動が出来る「人づくり」（人）
1）全社共通遵守事項６則の確実な実行と指導強化
2）作業前の確実なTBM・KYの実行・記録
3）声掛け・声だし・復唱応答による相互連絡の徹底

2．直協一体となった規律ある･風通しのよい「職場づくり」（仲間･環境･ソフト）
1）振り返りとスモールミーティングを通じ、職場の弱点掬い上げと改善
2）主管と協力会社による相互安全活動の充実
3）安全作業手順書（施工計画書含む）の見直しと完遂

3．災害リスクの抽出と徹底排除で、安全･安心な「ものづくり」（ハード･環境）
1）リスクアセスメントの強化
2）本質安全化の推進

4．作業・職場環境の快適化と心身の「健康づくり」（人・環境）
1）はつらつ健康運動を通じた健康・体力づくりの維持及び増進
2）個人と職場ぐるみのメンタルヘルス活動の推進
3）熱中症対策と粉じん、受動喫煙防止対策等作業・職場環境の計画的改善

品質方針

信頼と満足を追求し　目指せ『001』品質づくり
０：コンプライアンス違反ゼロ
０：品質トラブルゼロ
１：世界第一級の品質づくり

【重点課題】

1．コンプライアンス遵守と品質リスク徹底排除による盤石な品質保証の構築
・ハンド入力・修正ミス防止に向けた強固な仕組み造り
・異材・大量欠陥・重大クレームに対するリスク徹底排除

2．一貫品質管理強化と品質PDCAによる品質競争力向上
・所内・所間・お客様と連携した一貫品質管理強化
・品質PDCA迅速化

3．「品質・納期・開発」強化による商品提供力の向上
・品質・納期対応力強化
・お客様と一体となった新商品開発・ソリューション提案強化

4．標準化と対話による人づくり・風土づくり
・標準化推進強化
・QMSのさらなる浸透

環境方針

地域との共生にたゆまぬ努力を続け、
『水と緑と太陽の製鉄所』づくりを目指します

【重点施策】

1．環境リスクマネジメントの推進
1）法・協定等の厳格な順守
2）排水リスクの低減
3）臭気クレームの低減
4）環境課題の原因解明と対策の継続的推進

2．降下ばいじん量の継続的低減
1）発生源の特定と低減施策の策定・実行
2）クレーム等へのていねいな対応

3．環境に強い人づくり
1）教育体系の整備
2）環境マネジメントシステムでの仕組み・対応力強化

4．地球環境に優しい鉄づくり
1）省エネルギーの推進
2）ゼロエミッションへの推進
3）廃プラスチックリサイクルによる社会貢献

5．地域との共生
1）地域と共に歩み、信頼される製鉄所づくり

防災方針

今こそ高めよう　防災現場力！　～予防と初動の徹底強化～

【重点目標】
防災事故　ゼロ

【重点施策】

1．防災事故撲滅に向けた防災リスク管理強化
1）防災リスク低減活動の計画的推進
・リスクアセスメントとモニタリングによるリスク・弱点抽出と改善
・隅々までの可燃物６Sの定着化（油脂類・堆積石炭粉・工事残材　他）
2）電気室火災再発防止対策の推進
3）防災事故の真因追究・横展開

2．防災に強い人づくり
1）初動対応力の強化
・初動マニュアルのレベルアップと徹底した初動訓練を通じた問題点抽出と改善
・公設消防との連携強化　（速やかな通報と合同訓練）
2）防災意識・知識の向上
・直協全員での対話による危機感共有
・防災教育の積極的推進（標準類の習得、研修等）
3）厚板主電室火災の風化防止

3．地震・津波・全停電に備えた防災対応力強化
1）夜間帯を含めた構内全従事者の避難訓練の計画的推進
2）全停電時の非常用設備稼働確認の実施

幹部年

幹部の皆さまに、部の2018年の目標を

総務部長 中村 新吾

ご安全に！現在、大分製鐵所ファミリー一人ひとりが「人と４つの輪」を武器に「安全文化の再構築STEP2」「防災に資する現場６Sと訓練・リスクアセス」に取り組んでいます。2018年は必ずや我々の努力が実を結ぶ年としましょう。総務部は、各室の固有業務に邁進することはもちろん、室間連携をさらに深め、仲間の結束と互助の力で製鉄所ファミリーの全ての皆さまを支える覚悟です。明るく、粘り強く、希望を持って「一緒にやり抜く」総務部であるべく努力します。目指せ「001」！

2018年 挑戦したいこと

仕事　直・協、所内・外、地域の方々を含む全ての関係者から真に頼られる存在に

プライベート　心身ともに健康な毎日を

副所長 小森 俊也

ご安全に！安全文化の再構築STEP２の２年目です。人と４つの輪でKYやTBMができるようにレベルアップへ進み、大分製鐵所の001を実現し、手ごたえとして実感できる年にしましょう。また、JK活動を楽しく前向きに取り組み、考える力、行動する力をつけ、仲間の輪を広げていきましょう。一人ひとりでは小さな一歩でも、これが8,500倍になり大分製鐵所の大きな力となり進歩を実現します。勝つための手段を考え、全員でやり抜いて、良い年にしていきましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　心を動かす行動デザインのセンスを磨く

プライベート　季節を感じながらの散歩と、少しだけのストレッチでの体のメンテナンス

安全環境防災部長 今村 尚近

ご安全に！新しい年のスタートです。引き続き、安全文化の再構築STEP２を進めていきます。安環防全てに関して、現場・現物と対話、標準化、そして本質対策化を基軸として各職場の弱点克服活動をしっかり支援・推進していきたいと思います。また、「人と４つの輪」のそれぞれの輪とそのつながりの強化、徹底した予防（未然防止）に力を入れていきましょう。一人ひとりが、絶対に災害・防災事故を発生させないという強い信念を持って、魂込めて考え行動し、直協全員で一丸となって今年１年の災害・事故ゼロを達成しましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　重篤な災害・事故ゼロ、現場へ多く出て行くこと

プライベート　心身ともに健康維持、体力増進

工程業務部長 近藤 泰輔

ご安全に！安全・安心・安定の生産出荷を実現し、お客様、お取り引き先様からの信用信頼回復に努めます。これだけの人が関わり、莫大なエネルギーをかけてものづくりを行っています。何も起こらないことだけを目指して縮こまるのではなく、信用信頼を回復するために、積極的に前に出ることが大切です。そのために、各工程・職場各人でリスクを的確に見出して、セーフティーネットをいかに張り巡らせるかにかかっています。常に、「人と４つの輪」で考えていきましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　「やっぱり大分製鐵所が、いい！」のお声を増やしたい。

プライベート　減量。少なくともこの２年間の増量分は…。

生産技術部長 大塚 良朗

ご安全に！昨年は安全・防災・生産面で大分のつくる力が問われ続けた年でした。安全文化や基礎体力を築いていく歩みを確実に進めていかねばなりません。来る20中期は、安全文化の再構築・防災６Sと訓練・リスクアセス強化を基軸にした「信頼回復」、確固たる１千万t/Y体制を安定継続できる「つくる力の再構築」を二本柱に掲げています。予見されるリスクや課題を全員で共有化し、それに向き合って001大分へ新たな一歩を踏み出しましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　（継続して）知行合一

プライベート　（昨年出来なかった）走れる筋力づくり

品質管理部長 田中 宏信

ご安全に！品質管理部ファミリーの目標は、まずは無災害。お正月を無事迎えられたことへの感謝を大切にし、無事家に帰る、そして仲間を家に帰す、この当たり前の幸せを胸に留め、チームワークよく取り組みます。

また昨年は品質に関して潮目の年でした。今年は一段品質のレベルを高める年。お客様や社会からの信頼を継続するためには避けて通れない道です。約束を守り、仲間を守る、人として当たり前のことに立ち返り、風通し良く明るく頑張っていきましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　異材０と大量欠陥０をみんなで挑戦したい。

プライベート　100を安定して切ることと、80を安定して切ること。

製銑部長 川村 拓史

ご安全に！昨年、災害と防災トラブルを断切るため、リスクを潰す活動を続けました。豪雨対策も進め、成果をあげています。過去に大分でも、また他所にも類似例があり、その経験を皆で共有し、設備改善と対応訓練を継続しましょう。

製銑エリアでは2020中期も見据えた大型案件を企画します。本年も安全と健康を最優先し、「学び」、「相互対話」、「標準化」を大切にして、001大分の実現に向かい新たな活動に勇気を持って挑戦します。

2018年 挑戦したいこと

仕事　『温故知新』苦い経験を新技術へ

プライベート　『音巧治心』楽器演奏でボケ防止

頭挨拶

運営にあたっての思いや
語っていただきました。

製鋼部長 本渡 秀樹

ご安全に！製鋼グループは“盤石な安全・防災・環境体質づくり”を最重点課題として取り組みます。「安全文化の再構築」も２年目となり、現場第一線までの浸透・定着にとって、最も大切な１年となります。「対話」「現場現物」「標準化」「訓練・演練」をベースに、軸足をぶらさず、直協一体となり真摯に取り組むことが重要であり、それが一人ひとりの「納得感」そして「自律」に繋がると考えます。20中期も開始し、やるべきことも多々ありますが、「明るく」「真剣に」をモットーにグループ一丸で取り組みます。

2018年 挑戦したいこと

仕事　「対話」を基本とした「納得感」の醸成

プライベート　年齢を考え、意識した健康づくり

薄板部長 大野 隆久

ご安全に！今年は安全文化の再構築の２年目となります。リスクを放置せず暫定策を取り、本質安全を追及・実行し、さらに防災面は継続的な６Sと演練を推進してまいります。ただしそのベースは風通しのいい職場づくりであります。社員の皆さんがやる気を持って会社生活を送り、大分製鐵所で働いていることを誇りに思えることが一番です。ぜひそのような一年にしていきましょう。また、生産面では巡航60万トン超を狙える実力はついており、結果を出す一年になるよう挑戦しましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　100年生産し続けるための基盤整備計画策定

プライベート　運動する習慣をつけ健康増進

厚板部長 大竹 幸一

ご安全に！厚板は昨年の主電室火災の教訓を活かし、防災対策強化に力を入れていきます。そして、部の目標である「働く皆が自信と誇りを持てる職場」を今年こそ築きます。長期間工場の操業が止まって感じたのは、我々はやはりものづくりのためにいるということです。フル生産のプレッシャーもありますが、ものづくりができることの喜びを噛みしめて、安・環・防と品質をベースに厚板ファミリーが一致団結し、さらなる進歩を目指します。そして、信頼を取り戻します。

2018年 挑戦したいこと

仕事　信頼回復

プライベート　何か新しいことに取り組む

光鋼管部長 金森 美樹男

ご安全に！昨年は災害等で多くの方にご心配、ご迷惑をお掛けした１年でした。昨年10月５日から取り組んだ特別安全体質強化活動にて活性化した『変化点でのTBM』『クレーン玉掛の基本行動』『対話活動』『本質機械安全化』の自律的、継続的な取り組みを深化させ、ぜひとも偶然による災害ゼロではなく、必然の災害ゼロの結果を残すことにこだわって頑張っていきたいと思います。安全基盤の上に、品質、生産、出荷、収益があるということを胆に銘じて、この一年走り抜けていきたいと思います。

2018年 挑戦したいこと

仕事　必然の災害ゼロ

プライベート　ゴールデンウッズと呼ばれても恥ずかしくないゴルフのスコア

設備部長 重松 清

ご安全に！今年の設備部グループは、安全健康・環境防災を最優先とし、重篤な災害の根絶と防災事故の撲滅を絶対に実施していきます。そして、常に変化を機敏に感じ取り、スピード感ある業務運営にこだわり、安定稼働を達成します。「安全文化の再構築」を実施している中、一人ひとりが、志を高く持ち、将来の大分製鐵所のあるべき姿を考え、設備部グループ一丸となって何事にも惑わされることなく、取り組んでいきましょう！

2018年 挑戦したいこと

仕事　常に笑顔で、元気な明るい職場づくり

プライベート　日々精進による走れる体づくり

エネルギー部長 近藤 敏

ご安全に！ 2018年、安全・防災・環境体質強化のために一人ひとりが今何をすべきかを考え行動する一年にしたいと思います。そのためには先ずは安定操業です。「人と４つの輪」の視点で、設備を見て、需給変動を見て、共に働く仲間を見て、環境変化に注意を払い、リスクを抜けなく抽出して先手を打つ（標準・手順化）、これを繰り返し定着させることでエネルギー安定実力を高め、災害・事故ゼロを実現したいと思います。大分製鐵所「001」の旗のもと、全員で力を合わせて頑張りましょう。

2018年 挑戦したいこと

仕事　一年後、一人ひとり全員がレベルアップしたと実感できる育成

プライベート　九州全県の旨いもの堪能（但し腹八分目）

大分技術研究部長 大丸 成一

ご安全に！昨年も皆さまの協力を得ながら技術開発を推進してきました。今年は戌年、種まき、弾込めの年です。「すべての変革のキードライバーは技術である」という信念のもと、10年後、20年後に必要な新商品・新プロセス（武器）の提案を発信することも研究開発部隊の大きな使命だと考えます。品質向上、生産性向上、歩留まり向上に資する技術開発を第一としながら、「001」を実現する安全第一で世界最強ミルのため、精力的に新しい技術課題にチャレンジしていきます。

2018年 挑戦したいこと

仕事　完全無災害の継続と、新商品・新技術開発。

プライベート　体力増強！（大叩き撲滅と、駅伝大会12分台を目指す）

大協会、あいこう会 新年のご挨拶

大協会　会長

髙本　照久（日鉄住金テックスエンジ株式会社大分支店　支店長）

ご安全に！明けましておめでとうございます。日頃より製鉄所、ならびに会員各社の大協会の活動に対するご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。大協会では安全衛生防災委員会、人材育成委員会、総務委員会の３委員会を中心に大分製鐵所の理念である「001」実現に向け、「安全基本行動ができる人づくり・職場づくり」「将来を担う人財育成」「JKをベースとした現場の活性化および人材育成」を目的に活動し、各社の人材育成、実力向上ならびに製鉄所に貢献できたと思います。ただし、まだまだ道半ばであります。

今年も３委員会を中心に、製鉄所と連携して「安全文化の再構築」「防災体質強化」「世代交代の推進」「安定操業とコスト競争力向上」「風通し一体感向上」に取り組んでまいりますので引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

大協会　副会長

青山　勝巳（山九株式会社大分支店　支店長）

ご安全に！明けましておめでとうございます。日頃より安全衛生防災委員会の業務運営につきまして、格別のご理解ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

当委員会では製鉄所関係部門と協調し、会員各社相互の連携を深めた中で、大協会全体の安全体質の向上を目指した活動を企画部門と教育部門に分け機能的に推進しています。特に、ルール違反や不用意な行動による災害を撲滅するため、安全に強い「人づくり」に力を注いでいるところです。

2018年は、これまでの諸活動をさらに強化し、構内で働く全員が安全ルールを厳守する安全体質の構築を推進してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

大協会　副会長

徳田　篤洋（日鉄住金物流大分株式会社　代表取締役社長）

ご安全に！明けましておめでとうございます。私が幹事長を務める安全企画分科会では、「安全と健康は全てに優先する最も大切な価値であり、事業発展を支える基盤」という基本的考え方を踏まえ、「安全に強い人づくり」を目的とし、「SP養成講座」をはじめとする二次・三次協力会社も含めた各階層への教育および研修会の企画・立案を行い活動を展開しています。SP養成講座で昨年までに養成したSPは累計500人を越え、その大半が現場最前線の安全を真に支えるキーマンとして日々頑張っています。2018年はこれまでの諸活動をさらに充実させるべく、皆さまのご意見を積極的に取り入れてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

大協会　事務局長

前畑　實雄

ご安全に！明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。平素より大協会運営にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。昨年は建災防大分県支部のご協力を賜り、①法改正に伴う「足場組立特別教育」建設業「職長・安全衛生責任者能力向上教育」②構内統括工事増加に伴う「現場管理者統括管理講習」の講座を新たに開講し、急激な世代交代に対応した教育・研修会を開催してきました。本年も各委員会を中心に人材育成（意識・知識）活動を強力に推進し、安全実力を一段と飛躍させ、４つの「輪」の連携・拡大を図って行きます。真の「001」構築に向けて邁進していきますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

◆大協会 主な取り組み

2017年は「安全体質特別強化年」と位置付け、安全文化の再構築に向けた活動を展開し、安全に強い人づくりと４つの輪の強化を進めてきましたが、不本意な結果となりました。

2018年は「安全体質の浸透と徹底」で、各委員会を中心に「技術・技能の向上」「安全感性レベルアップ」を図り、「人づくり・職場づくり」で安全文化を構築していきます。

2017事業主研修（具志堅署長）

玉掛け実技

新入社員教育

各分科会の活動

▶安全企画分科会

安全の意識・知識向上を目的に「人づくり」「職場づくり」を理念に職場の「安全の核」となる人材の育成を図る。

- SP養成講座
- 事業主研修
- 二次・三次協現場責任者研修

▶安全教育分科会

安全教育、技術・技能の向上を目的とし、災害防止に資する人材育成を図る。

- 法定教育（22科目）
- 能力向上教育（７科目）
- 研修（７科目）

▶基礎教育分科会

製鉄事業の知識向上を目的とし、安全・品質・コンプライアンス講座の開設で社会人としてのマナーと躾の向上を図る。

- 新入社員教育　●中途採用社員教育
- 「機械・電気」の基礎講座
- 鉄づくりプロセス「中級編」
- 鉄づくりプロセス「上級編」

▶JK教育分科会

職場の抱える問題・課題を明確にし、改善活動を通じて人材育成と現場力向上を図る。

- JK初心者教育
- フォローアップ教育
- 能力向上教育（講師研修会）

あいこう会　会長

髙畑　繁則（吉川工業株式会社光支店　支店長）

ご安全に！明けましておめでとうございます。あいこう会各社も大分製鉄所と一体となり、安全基盤や防災体制の強化に向けて一年間にわたり、活動を展開してまいりました。昨年は、防災面で大きなトラブルの発生はありませんでしたが、労働災害は11月までに10件発生し、その内２件が休業と大いに反省せざるを得ない一年となりました。今年は、この事態をしっかりと受け止め、あいこう会も主管部門と連携し、安全職場の再構築に向けた、活動を会員各社で引き続き展開してまいります。

あいこう会　副会長

松下　誠（山九株式会社光支店　支店長）

ご安全に！明けましておめでとうございます。あいこう会各部会活動に対し、ご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。昨年は全社共通遵守事項《安全６則》を中心としたルールを守り・守らせる意識を高める活動を展開してまいりましたが、道半ばと言わざるを得ない状況で推移してしまいました。本年こそは、さらなる思いで活動を活性化させ、現場第一線で働く者一人ひとりが緊張感を維持し、確実・丁寧な作業で安全を担保すべく、作業環境・職場風土の改善に向けた活動を展開してまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

あいこう会　事務局長

弓場　育男

ご安全に！明けましておめでとうございます。日頃から光地区あいこう会活動に、ご理解とご支援をいただき、事務局長として厚く御礼申し上げます。

あいこう会として、昨年の主な活動は、「安全な職場づくり」、「人材育成」を柱にして活動を展開してきました。安全な職場づくりは、各工場との部会活動で問題の共有化を図り、作業・工事・商社部会のパトロールを通じて、安全意識の高揚を図ってきました。人材育成は、年間活動計画に、技能講習会・特別教育を計画・実施し、資格の取得・技能・知識の向上を図っています。今年も昨年同様に計画・実行して、「安全な職場づくり」、「人材育成」に向けて活動を展開していきます。

◆あいこう会 主な取り組み

昨年は、資格取得教育、各部会の問題点の共有化について、重点に実施してきました。2018年は、安全な作業を行う上で、昨年同様に資格習得教育と、作業・工事部会のパトロール活動を展開し、**「指摘」ではなく「指導」**して、未然に災害を防止して無災害職場を目指します。

那智大社にて安全祈願

秋の黄綬褒章

2016年に「現代の名工」を受賞した製鋼整備室の大畠栄治さん、日鉄住金テックスエンジ株式会社の仲摩吉成さんが、2017年秋の黄綬褒章を受章しました。

所長報告にて

大畠 栄治 さん
製鋼整備室

長年製鋼工場の真空冶金設備（RH設備）の点検・修理に従事し、高度な技術や経験をもとに、さまざまな改良・改善に中心的となって携わり、大きく貢献しました。

「名誉ある黄綬褒章を頂き、誠に光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いで一杯です。これまで育てて頂いた上司、諸先輩、各関係者の方々のご指導、ご協力があったからこその受章であると深く感謝しています。

現在、私の職場もまさに世代交代の真っただ中であり、若手の班長、次席が中心となり業務を行っています。このような中で、設備の高位安定稼働・さらなる安全を維持・向上するためには、若手の技術・技能の修得に向けた育成が最重要であり、トラブル事例による勉強会や現場教育をさらに実行していきます。」

指導風景

仲摩 吉成 さん
日鉄住金
テックスエンジ株式会社

入社以来溶接に携わり、優れた溶接技能でこれまで難易度の高い設備の工事を数多く手掛けてきました。近年は、県代表になった後進や、他社も含めた代表選手の指導を行い、九州・沖縄地区溶接技術競技会での大分県団体４連覇に貢献しています。

「すばらしい名誉ある褒章を頂き、大変光栄に存じます。これまでにご指導いただいた上司、諸先輩方、共に頑張ってきた職場の同僚、そして多くの方々に支えられたおかげと心より感謝しております。

これからもご指導いただいた方々の信頼に応えるべく、研鑽に努め、後輩たちの指導・育成に力を注いでまいります。」

指導風景

卓越した技能者（現代の名工）

卓越した技能を持ち、他の技能者の模範たるにふさわしい技術者「現代の名工」に、２人の社員が選ばれ、厚生労働大臣から表彰されました。

三浦 栄治さん（高炉工場）

入社以来高炉設備の点検・操業に従事し、効率化や作業改善等、設備の運転管理に卓越した技能で国内生産記録の達成や設備安定・省エネルギー技術の確立に大きく貢献しました。

「入社以来42年間にわたって、高炉設備の保守点検と安定操業に携わり、省エネルギー技術の確立に貢献することができ、大変嬉しく思っています。今回の受賞はひとえに上司、諸先輩方、仲間に支えられた事によるものと心から感謝しております。今後も後輩たちの育成のために、微力ながら力になれるように頑張っていきます。」

熱風炉の配管を流れる油の温度・油量を検知する三浦さん

江藤 浩二さん（炉材技術室）

入社以来所内全域の50以上の窯炉設備の耐火物保全整備業務に携わり、異変をすぐに察知し適切に処理する卓越した技能で設備安定稼働に大きく貢献しました。

「入社して約40年にわたり取り組んできたことが窯炉設備の長期安定稼働に寄与することができ、評価され大変嬉しく思っています。私を育ててくれた諸先輩と上司さらには職場の仲間たちに感謝するとともに長年培ってきた耐火物寿命診断技能を職場の若手に指導伝承し、さらなる設備の安定化に向け努力していく所存です。」

加熱炉内の耐火物を打音検査する江藤さん

大分県知事賞『基盤技術顕功賞』

企業に勤め工夫・改善により生産性向上などを通して大分県の産業に貢献した人を表彰する大分県知事賞「基盤技術顕功賞」に、当所から吉田清二さん（高炉工場）、小野田繁さん（中央整備室）の２人が選ばれ、大分県知事から表彰されました。

左から小野田さん、上野所長、吉田さん

健康topics　健康一年事始め…今できる！すぐできる！生活習慣改善

あけましておめでとうございます。新しい年のスタートですね。いろいろな「始まり」の季節でもあります。

今年１年健康で生き生きと過ごせるよう、自分自身の生活習慣を見直し、健康を意識したよりよい生活習慣を始めてみませんか？

今からできる! 生活習慣改善

体重 測定・記録

「肥満は万病のもと」そんな言葉があります。まずは「体重を量るだけ」から始めてみませんか？起床時と就寝前の**１日２回体重測定し記録をつけるだけ**で、食生活、運動習慣の意識づけになります。
野菜を先に食べる（ベジファースト）の習慣とともに体重測定を始めてみませんか？

運　動

筋肉には、熱をつくる働きや、血液を送り出すポンプのような働きがあります。女性は男性に比べて血管が細く、筋肉量も少なめ。そのため、男性よりも冷えやすく、血行も悪くなりがちです。男性も筋肉量は加齢によって減少するので、**運動する習慣を身につけて**、筋肉量の維持・増加をめざしましょう。

血圧測定

血圧は一日の中でも時々刻々と変化します。病院、クリニック、健康診断の場だけでなく**日々の血圧を測定する**ことで、自身の健康のバロメーターとなります。
起床後と就寝前の１日２回体重測定とともに血圧測定をはじめませんか？

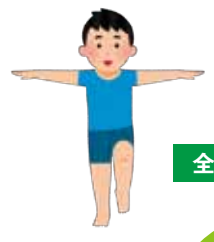
禁　煙

タバコを吸いながら健康を維持することはできません。きっかけがないと**禁煙**も難しいもの。2018年を**禁煙元年**としませんか。
構内診療所でニコチンパッチによる禁煙治療が受けられます。1日20本（1箱相当）吸う人なら、治療期間12週間の代金はタバコ代の半分。タバコに使うお金を自分が健康になるためのお金にしましょう！

2015年度から開始しています！安全体力診断（ATS）について紹介

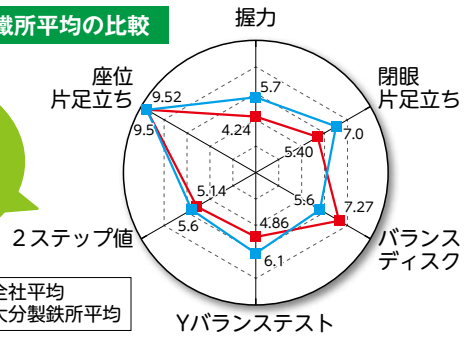
安全体力診断（ATS）は筋力、平衡感覚、柔軟性等を測定する右表の６項目で構成されています。

測定項目	内　容
閉眼片足立ち測定	視覚に頼らないバランス能力
２ステップテスト	下肢の筋力、柔軟性、バランス能力
握力測定	全身の筋力を推定
バランスディスク片足立ち	不安定な状態でのバランス能力
Y-バランステスト	バランス能力
座位からの片足立ち	下肢の筋力



全社平均と大分製鐵所平均の比較

バランスディスク以外は全社平均より下！



測定して終了ではなく
自分の現状を把握し理解することで、今後の自分自身の筋力低下の予防と**転倒リスクの低減**につながる生活習慣改善に役立ててください！

こころの健康相談窓口

【大分地区】安全健康室／佐藤保健師（内線：2478）
【光 地 区】安全健康室／平尾保健師（内線：2405）

職場では、仲間のちょっとした変化に気付き、相談にのっていただける方々が右のバッチを付けています。お気軽にご相談ください。

こころが元気になる職場づくり推進チーム

所内ジョギング・駅伝大会を開催

EVENT

11月４日、大分銀行ドームにて第38回新日鐵住金グループ所内ジョギング・駅伝大会が開かれました。オープン参加を含め全120チームが参加し、今年も各部で白熱した順位争いが繰り広げられました。

総合優勝は製鋼工場Ａチームで昨年に続き見事連覇を達成しました。優勝記録を伸ばす製鋼チームを破るチームが現れるのか、来年のレース展開も期待が高まります。結果は以下の通りです。

勢い良くスタート！

《Ａ部》優　勝：製鋼工場Ａ
　　準優勝：コークスＡ
《Ｂ部》優　勝：製銑整備室Ａ
　　準優勝：コークスＢ
《Ｃ部》優　勝：中央整備室Ｂ
　　準優勝：熱延工場Ｂ
《Ｄ部》優　勝：日鉄住金テックスエンジ 電計Ａ
　　準優勝：エネルギー整備室

総合優勝の製鋼Ａチームの皆さん

整備技能研修　体操・大声出しコンクールを初開催

EVENT

引き続き元気一杯頑張ります！

11月27日、新入社員の整備技能研修の一環で、体操・大声出しコンクールが開催されました。朝の体操・大きな声での挨拶の成果を発揮することを目的としており、今回はじめて開催されました。（研修生：機械整備系14人・電計整備系12人　合計26人）

体操コンクールでは、手先まで含めた姿勢やきびきびした行動をグループごとに発表し、大声出しコンクールでは、一人ずつ思い思いの言葉を大きな声で発表し、その声の大きさや内容を競いました。

特に大声だしコンクールでは、個性溢れる発表内容に会場も盛り上がり、新入社員の皆さんは研修を通して成長した元気な姿を披露していました。

＊体操コンクール優勝：機械１班（瀧石大翔、仲野翔真、森山直輝、橋本佳奈、吉岡大樹、後藤大成）
＊大声出しコンクール：大声大賞（戸高航汰）

グループでの練習の成果を発揮

一人ひとり熱い思いを叫びました

文体行事スケジュール

応援にもぜひお越しください

★光地区駅伝競走大会
開催日：３月３日㈯
場　所：光地区構内

★フットサル大会
開催日：
３月17日㈯
場　所：
明野第２グラウンド

★綱引き・大縄跳び大会
開催日：３月17日㈯
場　所：明野体育館

2017年度上期　発明改善功績賞

NEWS

１～３級

所長賞１級

「Siレス型DPハイテンの開発」
榊原章文（熱延管理室）、村上峻介（製鋼技術室）、山本晃大、安里哲（熱延技術室）、首藤洋志、榊原睦海、小林由起子（大分技術研究部）

所長賞３級

「TD不定形パーマ亀裂抑制技術の開発」
筒井雄史（炉材技術室）、西嶋史晴（炉材整備課）、前川明慶、辻陽一（黒崎播磨㈱）、牧政信、首藤義史（九築工業㈱）

「WS篩効率向上による熱源粒度の安定化」
吉本旭、白石優佳、牧野智明、佐々木亮輔、丸田博、深田則次（製銑原料工場）、東原清市（㈱上組）

「塊鉱MEBIOS法の開発」
内田総一郎、小林将大、斉藤英樹、鈴木末広（製銑原料工場）、齋藤実穂（製銑技術室）

「高精度鋳片形状測定技術の開発」
大嶋佑史、中島裕文、足立真彦、阿部高博（鋼片管理室）、大角洸平（制御技術室）

「連鋳スラブ切断命令最適化技術の開発」
綱嶋靖之（システム室）、田中克季（製品工程室）、中島裕文、辻清人（鋼片管理室）

※申請時の所属

表彰式にて

全社安全衛生小集団活動発表大会出場

NEWS

12月８日に行われた全社安全衛生小集団活動発表大会にて、高炉工場の新家萌菜さんが、大分製鐵所を代表して『ハンマー振り作業の排除』をテーマに発表しました。高炉原料設備のホッパー棚吊りトラブルをこれまでハンマー打撃作業で解除してきましたが、テストを繰り返しながら低圧水と低圧エアーによるブロー工法を見出し棚吊り解除率100％を実現しました。新家さんは来年10月に神奈川県横浜市で開催される全国産業安全衛生大会に出場します。

所長報告にて
左から上野所長、新家さん、川野係長

文体部 結果お知らせ

文体部の直近の主な試合結果をお知らせするコーナーです

2017年９月～11月の主な結果です。引き続き皆さんの応援をお願いいたします！

ソフトテニス部
９月　全日本社会人選手権大会　ダブルス
黒田さん・萱嶋さん　**ベスト16**➡天皇杯出場権獲得
10月　天皇杯　ダブルス出場　黒田さん・萱嶋さん　惜しくも２回戦敗退

ラグビー部
11月　トップキュウシュウリーグ　**Ｂリーグ２位**➡リーグ入替戦出場決定
入替戦は惜しくも敗退

卓球部
９月　全日本卓球選手権大会県予選会　男子シングルス
松原さん　**３位**➡全国大会出場権獲得（全国大会は１月開催）
10月　国民体育大会　成年女子　**大分県代表として出場**　辻原さん
惜しくも決勝トーナメント出場ならず

退職者の皆さま、お元気でご活躍下さい！

12月31日付で退職（定年）された皆さんです。

定年退職（製銑整備室）	定年退職（工程計画室）	定年退職（鋼管電気計装整備課）	定年退職（輸送管理室）	定年退職（輸送管理室）	定年退職（大分技術研究部）	定年退職（電気計装整備課）	定年退職（中央整備室）	定年退職（工事監理課）
芦刈　安文	江川　啓二	神原　学	黒田　潔	炭本　健次	高橋　真澄	田島　英樹	西川　俊也	結城　順史

【安全・防災に関する窓口】
所内の安全に関する意見・問い合わせ・要望等がございましたら「安全・防災ホットライン」へご連絡ください。
＊既通知の専用メールアドレスに加え、構内便など郵送でもお受けしています。

【コンプライアンス通報窓口】
職場のコンプライアンス違反（法令・ルール違反等の不正行為、ハラスメント等）に気づいたら、下記連絡先へご一報ください。
【全社相談窓口】コンプライアンス相談室　外線 0120-901-765
【大分製鐵所ハラスメント窓口】人事総務室（人事）内線 2021、2024

【石綿に関する健康相談窓口】
当所では石綿に関する健康相談窓口を設置しており、それぞれの地区の窓口でご相談をお受けしています。
【大分地区】097-553-2034（内線 2444）
【光 地 区】0833-71-5251（内線 2370）

発行責任者　人事総務室長　岩見　恭司　　SAIKI PRINTED　※無断転載禁止

古紙配合率100％の再生紙を使用しています。　大豆インクを使用しています。